

日本気象学会 沖縄支部だより

発行：(公社) 日本気象学会沖縄支部
〒900-8517 那覇市樋川 1-15-15
那覇第一地方合同庁舎
沖縄気象台防災調査課内

2021年度日本気象学会沖縄支部研究発表会

令和4年2月24日(木)、沖縄気象台6階の報道対応室及び研究発表者のオンライン環境において、2021年度日本気象学会沖縄支部研究発表会を開催しましたので、概要を報告します。なお、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、各発表者を特定の会場に集めずに各自の場所からリモートで参加いただく形での開催となりました。

1 支部長あいさつ(概要)

年度末に向け繁忙の中、多くの皆さんに参加いただき感謝します。本日は計12題の幅広い題目がラインナップされ、大いに頼もしく感じています。

近年は顕著な気象現象に伴う災害が多く発生し、さまざまな観点からの対策が必要になっています。ここ沖縄は大雨の発生頻度が国内有数であることに加え台風の常襲地帯でもあり、学会としても力を入れて取り組んでいくべきところ です。

普段、皆さんはコミュニティで活動されていらっしゃると思いますが、集団内の言葉とか常識といったものがあると思います。内輪で当然のことが実は外の世界ではそうでなかったりもします。本日の研究会では普段受けたことのない質問や聞いたことのないコメントもあろうかと思いますが、是非これを大切な気付きとして新鮮な意見交換となるよう期待しています。

また、取り組みの成果を災害の軽減など社会に還元していくには産学官の連携が必要であり、さまざまな分野との関わりがますます必要となります。取り組みの学術的なベースを求めつつも、それが世の中にどう役立つかといった視点も持っていただければ鬼に金棒です。

互いにムラ言葉を噛み砕きながら進めていきましょう。本日はよろしくお祈りします。

2 発表概要

研究発表会(座長:金城康広理事(沖縄気象台))では、琉球大学工学部3題、琉球大学理学部7題、琉球大学理工学研究科1題、沖縄気象台1題の、計12題の発表がありました(次ページにリスト)。

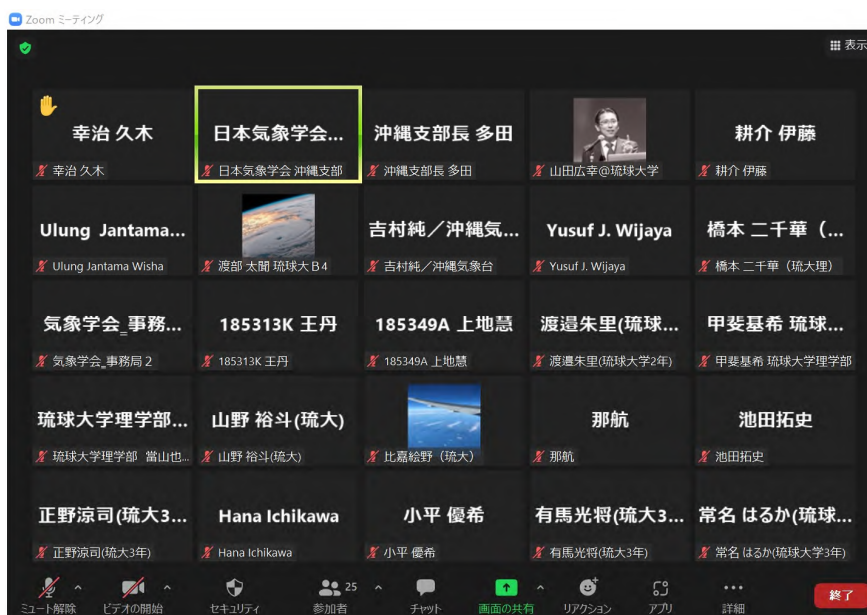
琉球大学工学部からは、カメラによるレンズ光学系映像による雷放電路の研究やUHFアンテナによる放電現象の観測研究など、気象現象を捉える観測システム側からのアプローチが紹介されました。これには参加者も興味深く聞き入り、今後の発展についての質問もありました。また、大気中の電場の中でさまざまな粒子が帯電落下する運動をシミュレーションした発表では、気流による粒子の移動以外にも電磁氣的に動く効果について関心が集まりました。

琉球大学理学部や沖縄気象台からは、台風・亜熱帯低気圧関連やエルニーニョ等の気候変動関連、東シナ海の海面水温や雷観測に関する話題など多彩な発表がありました。台風関連の発表では、座長が気象庁本庁で台風解析担当だったことから、同庁の業務に関する細かな説明もあり、発表者から感謝の弁もありました。気象庁のLIDENデータを活用した雷観測の研究に対しては、支部長より精度面のコメントと合わせて成果を共有いただきたいとの激励の言葉がありました。

発表題目 (所属：発表者)

- ① フラット光源の開発とレンズ光学系生成像の F 値による照度変化分析 (琉球大学工学部：上地 慧)
- ② 大気中降水粒子、砂粒子、火山灰粒子の帯電状態における落下運動 (琉球大学工学部：王 丹)
- ③ 放電現象観測用 UHF アンテナシステムの構築 (琉球大学工学部：田島 大雅)
- ④ 北西太平洋における「亜熱帯低気圧」の特徴 (琉球大学理学部：渡部 太間)
- ⑤ 台風環境場の成層安定性と強度変化の関係 (琉球大学理学部：當山 也斗)
- ⑥ The North Equatorial Countercurrent reaction to three types of El Nino, in the west of dateline (琉球大学理学部：YUSUF JATI WIJAYA)
- ⑦ The Influence of Climatic Factors on Triggering Sea Level Anomaly in the Equatorial Malacca Strait (琉球大学理学部：ULUNG JANTAMA WISHA)
- ⑧ 東シナ海における海面水温と降水量の関係 (琉球大学理学部：甲斐 基希)
- ⑨ 近年の台風の発生及び発達状況に関する調査 (沖縄気象台：河原 恭一)
- ⑩ 4月の南西諸島近海における雷活動 (琉球大学理学部：市川 花)
- ⑪ 2020年の梅雨に対する東シナ海海面水温の影響 (琉球大学理学部：小平 優希)
- ⑫ 民間航空機観測データを用いた台風構造の解析 (琉球大学理学部：伊藤 耕介)

※予稿集は沖縄支部ホームページの「お知らせ」に掲載しています。 <http://www.msjok.com/wiki/>



発表会開催中のオンライン画面の様子

- ・オンライン参加 22 名、
- ・支部事務局 4 名

3 閉会の挨拶 (概要) 山田広幸 理事

今日は非常に興味深い発表を聞くことができ、私自身も研究のモチベーションも上がり、色々なアイデアも浮かんできました。ありがとうございました。

支部発表会について、気象学会本体の全国大会では4セッションを同時並行して行い、別の会場で見たい発表があっても聞けないことがあります

が、支部では自分の分野以外も含めて色々なトピックを一つのセッションで聞けて議論できるのが利点であり、数少ない機会ではないかと思えます。その意味でも、年に一回集まって皆さんと研究成果を情報共有するというのは非常に貴重な機会と思えますので、また来年も色々な発表が聞けることを楽しみにしております。

報告：離島お天気教室

令和3年12月7日に石垣島地方気象台と共催で、与那国島の島内3小学校（久部良・比川・与那国）合同による離島お天気教室を、比川小学校の体育館をお借りして開催しました。

児童の参加者数は総勢126名（久部良小46名、比川小11名、与那國小69名）で、教職員は各学校長を含め34名に参加いただきました。

教室の開催にあたり、沖縄支部より実験機材として「雲発生装置のペットボトルキャップ」、「熱気球実験装置」、「竜巻実験装置」を石垣島地方気象台に貸し出しました。合わせて、沖縄気象台からは学会員の職員を与那国島に派遣しました。

実験は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、各ブース（ペットボトルで雲発生、大気圧、熱気球、竜巻）をできるだけ離すとともに、全体を6グループに分けて行いました。



ペットボトルで雲発生実験

ペットボトルで雲発生実験では、低学年の児童は力が弱く、ペットボトルに十分に圧縮空気を詰め込めないうえ、教職員の先生方の協力を得る場面もありましたが、児童たちは、ペットボトルの中で雲が発生することに興奮し、終了時間ぎりぎりまで何度も楽しんでいました。

自宅でも実験をやってみたいといった声もあり、実験器具の炭酸キャップはどこで手に入れることができるのか質問する児童もいました。



竜巻発生装置による実験

竜巻発生装置による実験では、竜巻発生の仕組みを説明した後に実際に竜巻を発生させ、防災知識の普及啓発として、竜巻から身を守るための3つのポイントを説明しました。

体育館内の風で渦が乱れてしまい、綺麗な竜巻にならないタイミングもありましたが、見事に渦ができるとう、児童たちは「すごい！」と目を輝かせて渦に見入っていました。また、実際の竜巻の大きさや、台風の時も竜巻は発生するのかななどの質問が飛び交い、児童たちの好奇心旺盛な様子が感じられました。



熱気球実験

熱気球実験は、周囲の温度より暖かい空気は軽くなって上昇することを体験してもらえよう実施しました。

児童がドライヤーで温風を吹き込んだ熱気球が体育館の天井まで上がると大きな歓声に包まれました。「実験やりたい人ー？」と声を掛けると、低学年の児童はほとんどみんな手を挙げるほど、楽しんで実験に参加していました。

事務局からのお知らせ

■「沖縄支部だより」の原稿募集

事務局では「沖縄支部だより」に掲載する会員からの原稿を募集しています。

沖縄支部会員の活動報告、気象知識の普及活動の状況、沖縄の気象に関する事例解析・統計調査など情報交換に役立つ原稿であればどのようなものでも結構ですので、支部事務局までご投稿ください。会員各位の積極的な投稿をお待ちします。

■住所変更届のお願い

転居や転勤により登録情報に変更が生じた際は、次の方法で手続きを行ってください。

○ご本人による手続き（オンライン申請）
気象学会本部ページの「入会案内」ページ
（以下 URL）にて登録情報の変更を行います。
<https://www.metsoc.jp/membership-2>

【方法】気象学会本部ページの「入会案内」ページにおいて、「[会員登録情報の変更](#)」画面に入り、必要事項を記入の上、送信することで手続きは完了します。ご不明な点がありましたら事務局までお尋ねください。

■メールアドレス登録のお願い

支部だより発行、総会などの開催通知等は支部全会員に E-mail で配信しています。まだ登録されていない会員の方は、会員氏名・番号、E-mail アドレスをご登録いただくようお願いします。

登録は、住所変更届と同様に、「[会員登録情報の変更](#)」からのオンライン申請でお願いします。

■日本気象学会への入会案内

みなさまの周りに気象学を専攻している・気象関連の仕事をしている・気象に興味を持っているような方がいらっしゃいましたら、日本気象学会への入会をお勧めいただくようお願いします。支部事務局までご連絡いただければ、入会方法などご案内します。

■沖縄支部 50 周年記念誌

2022 年度は沖縄支部創設 50 周年にあたります。これを記念した「日本気象学会沖縄支部の 50 年」（本文・資料合わせて 75 ページ）を制作しました。

印刷業者から納品後、速やかに各会員に発送いたします。その際、登録いただいた住所宛に発送することとしておりますが、気象台職員については各職場へまとめてお送りしますので、適宜お受け取り下さい。また、会員の皆さまには本記念誌に対する感想なども寄せていただければ幸いです。

